

たんぽぽ

宮城野高校同窓会報誌

2020 第19号



会長挨拶

第4代会長 上野 岳

同窓生の皆様、2019年の総会にて庄司前会長からバトンを引き継ぎ、第4代目の会長に就任いたしました10回生の上野です。微力ながら同窓会の発展と同窓生の皆様のお役に立てるよう努力致しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、2020年は宮城野高校の創立25周年の節目の年でありました。在学中に10周年の記念式典に参加した私としては今回同窓会役員としてまた記念事業の運営に携わることができ、不思議な巡り合わせを感じております。

近年は高度な情報化や国際化など、今までよりもさらに変化が大きく多様性が求められる時代が到来しております。また昨今の新型コロナウイルスのようにこれまでに経験をしたことのない新たな問題に直面することもあるかと思えます。宮城野高校にはこれからの時代に必要となるであろう、一人ひとりが自由と個性を尊重し、多様性を認め合い、自主的・主体的に活動するという文化が根付いていると思えますので、今後もこの環境を大切に活動していただければと思っています。

日本はもとより世界中で新たな脅威が猛威を振るっております。同窓生の皆様におかれましてはご自身やご家族、周囲の方々の健康、安全にご留意いただきつつ、共にこの状況を乗り越えていけることを願い、挨拶に代えさせていただきます。



校長挨拶

「創立25周年を超えて」

第10代校長 遠藤 吉夫

同窓会員の皆様、こんにちは。皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より、本校の教育活動に対して心温まるご支援ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

皆様ご存じのとおり、今年度は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため、本校においても少なからぬ影響を受けました。他の県立学校と同じく、6月1日に学校を再開し、入学式(各教室へ配信)を同日に無事挙行することができましたが、諸行事の中止を余儀なくされました。体育祭や文化祭などが中止になったことが本当に残念ですが、生徒がいつも以上に元気に学校生活に打ち込み、ひとまずほっとしているところです。

その新型コロナ感染症拡大防止のため開催規模を縮小しましたが、皆様の温かいご支援により、創立25周年記念式典・記念講演会・記念事業を滞りなく開催・実施できました。同窓会の皆様とともに心から喜びたいと思います。記念講演会の講師としてお招きした小山薫堂先生の講演は、まぎれもなく生徒の心を大きくゆさぶり、生徒のこれからの人生に大きな指針を与えていただきました。また10周年に引き続き、記念事業の一環で25周年記念誌「野を讀ふⅡ」を刊行しました。本校創立11年目以降を振り返るものとしてご覧いただければ幸いです。また「25年目のsowzoU」と題した美術科卒業生作品展を企画し、記念式典当日前後には作品を校内で展示し、さらに美術科の卒展期間には、卒展会場の宮城野区文化センターの一室を借りて作品を展示しました。5～22回生、計23名24作品が展示されました。ご協力、ありがとうございます。さらに全年次のロッカー更新が完了し、また記念事業として本校中庭にタイルアート(テーマ=「25年目のグラジオラス」・全生徒参加型)を施しました。2月末の同窓会入会式当日にはお披露目できる予定です。また10月17日には桜等の記念植樹も行いました。これらの記念事業にご尽力いただいた25周年記念実行委員会の皆様をはじめ、同窓生のすべての皆様に感謝申し上げます。

まだまだコロナ禍の終息が見通せないところではありますが、皆様とともにスクラムを組み、コロナ禍に立ち向かい、本校の50周年や100周年を見据えた教育を展開して参りたいと存じます。今後とも温かいご支援ご協力を賜りたいと思います。新年度もよろしくお願いいたします。



表紙作者紹介

吉澤 京 : Miyako Yoshizawa



プロフィール

2017年宮城野高校美術科日本画専攻卒業(20回生)
映像美術デザインを学んでいます

表紙に込めた思い

「芽吹き」
移るいゆく時間の中で、“今”とは何なのかを考えながら制作しました。自分の命を削りながら表現したものが、芸術家にとっての“今”なのではないでしょうか。表紙を制作するにあたり、仲間たちと切磋琢磨しながら自分の作品と向き合った、放課後の日本画室を思い出しました。宮城野高校での3年間は私の中で1番の宝物です。

令和元年度 同窓会総会・懇親会



令和元年9月14日、ホテル白萩にて総会ならびに懇親会が行われた。総会は例年通り全ての議事が滞りなく進行し可決された。また、庄司第3代会長からの退任の意向を受け、新会長について協議し、10回生の上野岳が第4代会長に選出された。懇親会には同窓生、旧職員、現職員合わせて約30名が参加し交流を深めていた。
新型コロナウイルスの終息が見通せず、総会懇親会も今後の見通しが立たないままだが、また賑やかな会を催したいものがある。

文化祭出展

令和元年7月13日に行われた文化祭に出展し、来場者に宮城野の印象などを思い思いに紙に書いてもらった。その紙を組み合わせると校章が出来上がる仕掛けで楽しんでもらった。



同窓会入会式

令和2年2月27日に同窓会入会式が行われ、23回生271名が正会員として入会し、ホーム幹事として23名が選出された。また、新型コロナウイルス感染拡大防止策として政府による全国一斉休校が発表される直前の入会式でもあった。

ホーム	23回生 ホーム幹事	
	幹事氏名(★印…常任幹事)	モエ
31H	川村くれは 橋浦 萌	
32H	石川 千紗 ★中川 寛大 渡部 俊 金子 佑斗	
33H	菅野 優菜 高橋 春佳	
34H	佐藤 理紗 早坂 日那	
35H	狩野 元杜 坂田 一真 小野寺広斗	
36H	★小角 夏菜 三浦 悠香 関口沙穂花	
37H	★三浦 舞子 吉田 薫 ★遊佐 伊吹	

25周年記念式典・講演会

令和2年10月30日に宮城野高校体育館にて創立25周年記念式典・講演会が行われました。同窓生の皆様におかれましてはご理解と協力をいただきありがとうございました。詳細は次号でご紹介できればと思います。

「竹中商店」をよろしくお願いします

竹中 広大 3回生

3年前、親父の癌が再発。当時、私は東京でケータリングの仲介業をやりながら飲食店に勤務していました。結婚もせず、自由でそこそこ収入がある生活に結構満足していたと思います。東京生活19年ともなれば第二の故郷みたいなもので、重い腰をあげるには良いきっかけ。去年の夏頃、仙台でお店をやることにし、帰郷するたび不動産屋に通うようになりました。3回目の内見で物件を決め、10月末に両親に報告、仕事も整理して12月の初旬には仙台に引っ越し、今年1月10日にはお店を開店。なかなかのスピード感にじびれました。



お店は順調だったけど予期せぬコロナに急ブレーキ。それでも後悔はないし地元の同級生に会える今が一番幸せかもしれません。親父も年明けから容体は悪くなる一方でしたが、最後の治療が奇跡的に効いて、少し元気になりました。

あっという間にこんな年齢だし、親も年だし、実家には柴犬しかいないけど、竹中の名前を残したくて「竹中商店」と名付けました。実家の竹中呉服店はいつか閉めるとは思いますが、ここ仙台で長くお店を続けて行くのが今の目標です。宮城野の皆さんもいつか立ち寄ってみてください。

仙台市青葉区国分町2-8-12 国分町Kビル504
創作料理とお酒 竹中商店
takenakashouten.jp

(2020年5月記述)

25周年に寄せて

建設的に『迷う時間』と 何かを選ぶ『自由』を 提供する『場所』

津野 裕英 (宮城県工業高等学校)

多賀努先生(現・仙台育英学園高校)が教頭として二度目の宮城野高校勤務をなさっていた時、私は普通科長へと御指名を受けた。当時の美術科長(佐々木秀夫先生、現・宮城一高)や総合学科長(亀井聡先生、現・古川高校)と違い、卒展をするわけでもPSの発表会をするわけでもなく、名ばかり科長で会議に出るだけが務めだと思っていた。ところが学校案内パンフレットをリニューアルするとのことで、科長からの一言を書けとの命が中学校の先輩でもある亀井先生から下ってしまったのである。



諸君も重々承知している通り、美術科や総合学科には明確な特徴がある。では「普通科のアイデンティティとは何か」ということを、恥ずかしながらその時初めて明確に意識せざるを得ない状況に私は追い込まれてしまった。そして、その時書いた一文の表題こそが今回の文章の表題なのである。

私は、その中で次のように書いた。

『人は、物事を見る目線や視野が広がっていく成長度合い、人生の目標を見出すタイミングが全て違います。加えて、人は迷います。10代半ばであればなおさらです。そんな中で、高校を決めることになります。』

高校入学前にやりたい分野が決定している人は、その分野を専門的に学べる学科が適しています。本校の場合、それは美術科です。将来の目標を明確に意識している人は、高校入学後すぐにその実現に向けた知的スキルの向上に努めるべきです。本校の場合、それは総合学科です。そして、自分の将来に対して漠たる不安を抱えながらも自ら何かを掴み取るという意志のある人は、宮城野高校普通科という場所をぜひ最初の「選択」としてほしいと考えています。

本校の普通科は、在学中に自らの方向性を模索し、発見し、選び、そして実現に向かって進むことのできる場所です。授業、サークル活動、校内のボランティア活動、各種の特別講座、生徒自治活動等を通じて、生徒諸君が自ら「考え」、試行錯誤を重ねて「迷い」、そして自身の力で「選択」し、何かを掴み取る「自由」が存在する「場所」を提供すると共に、生徒諸君が「考え」「迷っ」ている間、全力でサポートします。』

普通科長としての紹介文ではあったが、実は宮城野高校そのものがこのような「場所」として機能していると今でも私は考えている。自らが何者であるかを考え、あるいは何者になるべきかを考える場所として宮城野高校ほど適した「場所」はあるまい。そして、創立以来そうあるべく我々教職員は諸君の傍らに立ち続けてきたし、在校生に対して在籍中の先生方は今現在もそうしているはずである。

しかし、その経験を得た同窓生諸君にとっては、もはや新たに何かを提供される場所は必要ではないはずだ。諸君が今現在立っているその場所は、自分自身で「建設的に何かを思索し、何かを選択し実行する意思を発揮する場所」なのである。

同窓生諸君が、今後の人生においても自らの力で何かを掴もうとし続けるであろうことを私は期待している。

(2020年9月記述)

旧職員より宮城野

25周年に寄せて

今野 敦子 (宮城県仙台二華高等学校)

宮城野高校開校25周年おめでとうございます。今回会報誌に寄稿させていただくに当たり、宮城野高校で過ごした7年間を今また温かい気持ちで振り返っています。このような機会をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

新任式で体育館の壇上に立った瞬間、すでに一人ひとりの個性が輝いて見えたこと。遠足で那須ハイランドパークに向かうバスの車内で「耳をすませば」を観ながらホーム全員で盛り上がったこと。生徒自身が作り上げる文化祭や体育祭が、おもちゃ箱をひっくり返したように楽しかったこと。毎日が驚きと喜びでいっぱい、すべて昨日のこのように覚えています。

宮城野高生は、個々の違いを尊重する寛容さと、チャレンジを恐れず各人の個性を生かして道を切り拓いていくバイタリティを持っていると思います。そして、それらはこれからの社会でますます必要になる特質です。ぜひ磨き続けてください。

私の現勤務校である仙台二華高校は、来年度から国際バカロレアという学習プログラムを導入する予定です。導入準備は私にとっても新しい学びの連続であり未知への挑戦ですが、宮城野高校のみなさんに倣って、私もこのチャレンジを楽しみたいと思っています！

(2020年7月記述)



宮城野高校美術科の思い出

佐々木 秀夫 (宮城県宮城第一高等学校)

宮城野高校美術科での14年間は、私にとって本当にエキサイティングな時間の連続でした。

個性豊かな美術科教職員と、それをも上回るパワーの塊のような美術科生徒の皆さんが「想像力と創造力」の表出である作品を数多く生み出してくれました。その集大成として開催される卒業制作展は、どの回も個性的で魅力的でした。私が最初に関わらせていただいたのは「スペタノカベタノ」でした。8回生の皆さんは担任の坂本和之先生以上の個性派揃いで、今でも私にとって宮城野美術科卒展の始まりとして貴重な経験をさせてもらいました。その後も通算で14回の卒業制作展に関わらせていただきましたが、現在の宮城野区文化センターへ会場を移してからの卒業制作展も、新たな宮城野高校美術科の発信源として今後に期待をしています。

美術科の思い出としてもう一つ忘れてならないのは、東日本大震災後に始めた「復興へ! 高校生が架ける虹のアートプロジェクト」の取り組みです。このプロジェクトを通じて京都市立銅駝美術工芸高校や宮崎県高文連の皆さんとの連携が生まれ、それが今でもつながっていることが私にとって貴重な財産となっています。

(2020年10月記述)



平成30年度 宮城県宮城野高等学校同窓会 決算書
(平成30年8月～令和元年7月)

1 収入の部 (単位: 円)

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
会費	1,499,400	1,461,600		37,800	会費: @1800円×837名 退会等会費返金: @1800円×25名(延べ)
繰越金	1,920,834	1,920,834			前年度繰越金
雑収入	0	0			
合計	3,420,234	3,382,434		37,800	

2 支出の部 (単位: 円)

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
1 総務費	270,000	53,080		216,920	
(1) 会議費	30,000	7,080		22,920	幹事会弁当代
(2) 旅費	150,000	46,000		104,000	幹事会交通費
(3) 雑用費	50,000	0		50,000	
(4) 慶弔費	30,000	0		30,000	
(5) 雑費	10,000	0		10,000	
2 事業費	1,580,000	1,217,727		362,273	
(1) 総会・懇談会費	650,000	857,131	207,131		総会開催・総会案内印刷・発送代等
(2) 会報発行費	400,000	21,460		378,540	会報表紙デザイン謝礼
(3) 在校生支援費	300,000	256,284		43,716	卒業証書ホルダー代
(4) 卒業生企画支援費	80,000	22,522		57,478	受験準備生協賛会費用
(5) 同窓会企画費	20,000	0		20,000	
(6) Webサイト運営費	10,000	5,466		4,534	レンタルサーバー費用
(7) 支部助成費	20,000	0		20,000	
(8) 同窓会名簿管理費	100,000	54,864		45,136	会員データ年間保守管理料
(9) 確立費	0	0		0	
3 子備費	1,570,234	0		1,570,234	
(1) 子備費	1,570,234	0		1,570,234	
合計	3,420,234	1,270,807		2,149,427	

3 差引残高 (単位: 円)

総収入額	総支出額	差引残高	摘要
3,382,434	1,270,807	2,111,627	次年度へ繰越

令和元年度大学入試合格者数延べ人数 * () 数は現役合格者内数

【国立大学】		【私立大学】	
北見工大	1 (1)	東北学院大	114 (107)
室蘭工大	1 (1)	東北工大	27 (26)
弘前大	1 (1)	東北福祉大	33 (28)
岩手大	5 (5)	東北医薬大	6 (5)
東北大	1 (1)	東北生活文化大	5 (5)
宮城教育大	7 (5)	東北文化学園大	4 (4)
秋田大	1 (0)	宮城学院女子大	23 (21)
山形大	16 (14)	石巻専修大	8 (3)
福島大	5 (5)	尚綱学院大	19 (13)
茨城大	1 (1)	仙台白百合女大	8 (7)
筑波大	1 (1)	仙台大	1 (1)
宇都宮大	2 (2)	東北芸術工大	23 (23)
東京芸術大	2 (0)	亜細亜大	2 (2)
新潟大	1 (0)	國學院大	1 (1)
国立大学合計	45 (37)	駒澤大	3 (2)
岩手県立大	2 (2)	上智大	1 (1)
秋田県立大	1 (1)	女子美大	2 (2)
秋田公立英大	3 (3)	成蹊大	1 (1)
宮城大	21 (19)	多摩美大	3 (3)
会津大	1 (0)	中央大	1 (1)
群馬県立女子大	1 (1)	津田塾大	2 (2)
高崎経済大	1 (1)	東京理科大	1 (1)
長岡造形大	1 (1)	東京造形大	1 (1)
金沢美術工芸大	1 (1)	東京農大	3 (3)
京都市立芸大	1 (1)	東洋大	3 (3)
公立大学合計	33 (30)	日本大	3 (3)
国立大学合計	78 (67)	法政大	1 (1)
		武蔵野美大	4 (4)
		明治大	2 (2)
		早稲田大	2 (2)
		東海大	5 (5)
		京都造形芸大	1 (1)
		同志社大	1 (1)
		その他私立大学	12 (8)

私立大学合計 326 (293)

平成30年度 宮城県宮城野高等学校同窓会 特別会計決算書
(平成30年8月～令和元年7月)

1 収入の部(定期預金) (単位: 円)

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
収入	0	0			
繰越金	10,523,162	10,523,162			前年度繰越金(定期預金で運用)
雑収入	592	730	138		定期預金利息
合計	10,523,754	10,523,892	138		

2 支出の部(取崩し) (単位: 円)

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
1 助成金	4,000,000	4,000,000			
(1) 創立25周年記念事業開催助成金	4,000,000	4,000,000			宮城野高等学校創立25周年記念事業実行委員会へ助成
合計	4,000,000	4,000,000			

3 差引残高 (単位: 円)

総収入額	総支出額	差引残高	摘要
10,523,892	4,000,000	6,523,892	次年度へ繰越

令和2年度 宮城野高校同窓会役員・執行部

令和2年4月1日現在

役職	氏名(回生)
会長	上野 昌(10)
副会長	柴田 康博(1) 菅川 直子(1)
議長	吉澤 和(16)
副議長	吉田 友香(1) 藤田 航平(18)
会計	西海 泰(1) 堀込 洋子(7)
会計監査	柴田 久美子(2) 大泉 卓也(10)
総会開催班	大泉 卓也(10) 宮下 陽菜(12)
会報班	佐藤 裕太(10) 加藤 健太(19) 杉尾 雄平(19) 眞山 乃梨(21) 大久保 歩美(22) (阿部 琢哉(6))
在校生支援班	吉田 瑠生(18) 齋藤 愛果(22) 萩原 珠衣(22)
卒業生支援班	竹内 大空(16) 相澤 梨沙(17)
同窓会企画班	上野 昌(10) 新入回生(持ち回り制・今年度は23回生)
WEB班	田村 諒(10)
参与	遠藤 吉夫(現校長)
宮城野高校事務局	遠藤 和浩(総務部長) 佐竹 明治(総務部) 藤原 昇(総務部) 若生 悠太(総務部) 伏見 裕子(事務室長)

お世話になった先生方

令和2年3月
退任・転任された先生方

遠藤 光一 教頭先生
及川 茂 先生
加藤 英明 先生
小幡 麻子 先生
山口 淳 先生
橋川 志津 先生
渡邊 満 先生
櫻井 達夫 先生(事務室長)
森 拓人 先生(主事)
黒崎 雄介 先生(講師)
内海 弘美 先生(非常勤講師)
平塚 和也 先生(非常勤講師)
津守 大智 先生(非常勤講師)
谷藤 加奈 先生(非常勤講師)
遊佐 敬明 先生(臨時職員)
合津奈穂子 先生(臨時職員)

Staff 募集!
同窓会では一緒に活動して
くださる方を募集しています。
ご関心のある方は同窓会
事務局までご連絡下さい。

Tampopo Project 2020-2021
同窓会では皆様からの記事のご提供、ご意見ご感想をお待ちしています。
また、皆様の活動の支援も行っていますので、事務局までご連絡下さい。

卒業者数(1~23回生)

普通科	3,613
総合学科	1,810
美術科	887
合計	6,310

令和2年度の同窓会総会は昨今の情勢を鑑み中止となりました。詳細は同窓会ホームページをご確認ください。

住所変更等の連絡のお願い
同窓会からの刊行物を送付するため、住所変更の際はWebサイトもしくは直接事務局へ電話でご連絡いただけますようお願い申し上げます。

たんぼぼ19号 2021.2.27発行 5600部
前回発行した2019年のたんぼぼ18号からだいぶ時間が経ってしまいました。その間に当たり前の日常が新型コロナウイルスにより一変し、その想定外の中、宮城野高校は25周年記念事業を執り行うことになりました。それらは対策と工夫により無事に終えることができましたが、私たち同窓会執行部は大きな影響を受けてしまいました。会報誌の作成にあたっては企画やアイデアが雑談から生まれるということもあり、集まらない状況は厳しいものでした。特に今回は宮城野25周年ということで張り切って様々な企画を用意していました。しかし、自分たちの実力以上に欲張りすぎたことと新型コロナによってほぼ全ての企画が頓挫してしまいました。結果として例年のスケジュール通りに発行できず、内容も今できる範囲で構成した2ページ減の6ページになってしまいました。次の20号ではなるべく通常通りのスケジュールとページ数を目標したいと思っていますが、情勢が改善しているわけではありませんので温かい目で見守っていただけたら幸いです。
最後に、原稿を寄せていただいた皆様におかれましては、ご協力いただいたにもかかわらずタイムラグのある形で発行になってしまい申し訳ありませんでした。そして何より同窓生の皆様には大幅に発行が遅れたことで会報誌としての義務を果たしきれず大変申し訳ありませんでした。この場を借りて関係各所の皆様にお詫び申し上げます。
(会報誌担当代表: 佐藤諒太 (10))